

地域おこし協力隊が行く! — Vol.81

中標津町地域おこし協力隊 安藤 響平

あんど うきょうへい



ゴールデンウィークといえば、初夏のイメージが強いでしょう。気温は30度近くに上がり、季節外れのセミが鳴いていることも少なくないはず。ですが、中標津のゴールデンウィークは桜の季節と聞きました。そこで今回の記事では、埼玉の花見と中標津の花見の違いについて書いていこうと思います。



こちらはしだれ桜

埼玉の花見は基本的に3月下旬から4月上旬に行われます。いくら埼玉とはいえ、気温は6～8℃と冷え込みます。その寒い中、屋外で弁当を食べながら飲酒で体内から温まるハードなイベントというイメージが一般的です。コロナ禍で自粛傾向ではありますが、今もなお人気のイベントの1つとなっています。

桜が綺麗に見えるスポットの場所取りは熾烈なものとなり、3～4日前から場所取りを始める人も少なくないそう。私も毎年、氷川神社に花見に行って凍えながら骨付きソーセージを食べていた思い出があります。震えながら骨付き肉を食べている姿はかなり不審です。今思うと、よく通報されなかったなと思いました。ですが、中標津の花見は桜を遠目に見ながらBBQに興じるイベントとのこと。桜の品種が本州と異なり、チシマザクラやエゾヤマザクラの開花シーズンがBBQのシーズンと被っているそうです。なんて優雅なんだ…。

中標津に地域おこし協力隊としてやってきて早10か月。まだまだ知らないことばかりですが、夏祭りやライダースミーティングなど楽しみなことも盛りだくさん。今までの経験を活かしながら、これからも新しいことに挑戦していきたいと思います。



氷川神社の桜!